

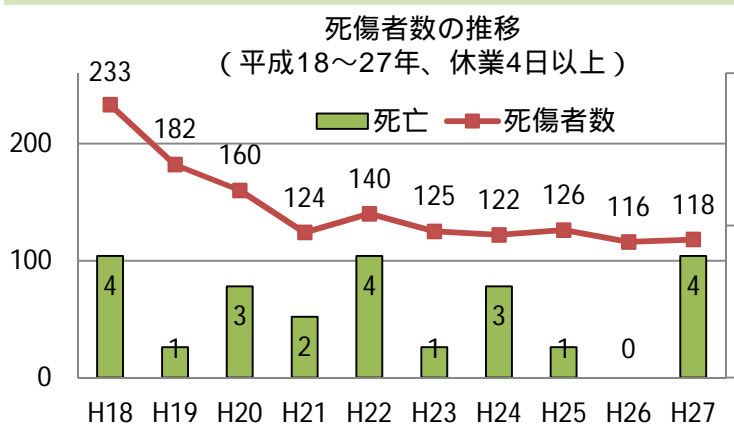
木造家屋等低層住宅建築工事で 墜落災害が多発中！



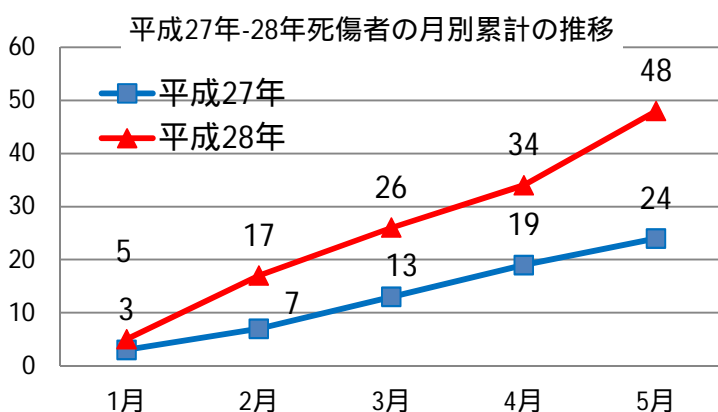
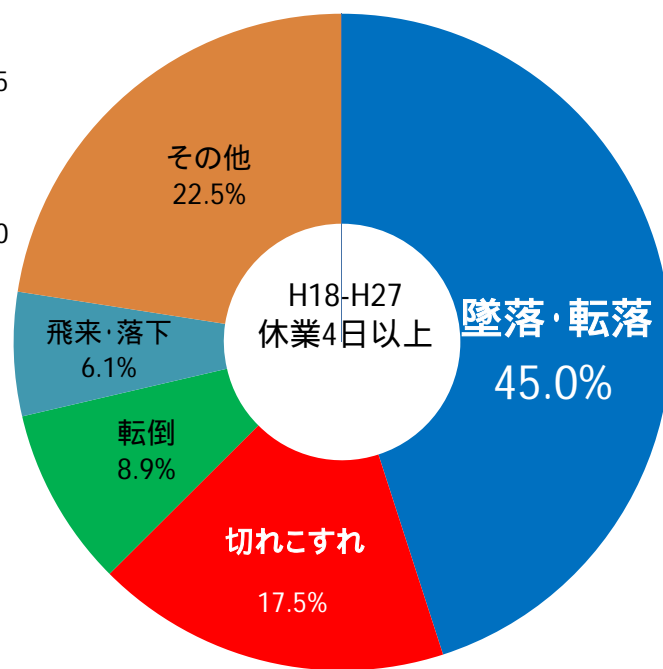
STOP! 労働災害！

木造家屋建築工事では、墜落・転落災害が最も多く死傷災害の45.0%、死亡災害の65.2%を占めています。墜落・転落災害の起因物は、足場から28.3%、はしご・脚立から26.0%、屋根・梁等18.9%の順となっています。

特に、今年に入り5月末現在で、死傷者数が前年の24人から48人へと倍増し、中でも、**墜落・転落災害が9人から20人へと大幅に増加**しています。



木造家屋建築工事業 事故の型別労働災害発生状況
(平成18~27年、休業4日以上)



〔木造家屋等低層住宅建築工事の主な労働災害防止のための取組〕

- 1 足場には、手すり、中さんを確実に取付け、開口部には手すり又は覆い等を設置しましょう。
- 2 はしご・脚立を使用するときは、脚部の固定又は転移防止対策をとってから使用しましょう。無理な体勢で使用してはいけません。
- 3 屋根・梁等の建て方については、親綱を設置しての安全帯の使用又は墜落防止ネットの設置を確実にいきましょう。



厚生労働省北海道労働局・労働基準監督署(支署)

現場の安全は確保されていますか？

点検してみましょう

墜落防止対策

点検項目	チェック
1 軒高5メートル以上の木造建築物の構造部材の組立て等について、「木造建築物の組立て等作業主任者」を選任し、その職務を実施していますか。また、それらを周知していますか。	はい・いいえ
2 高さ5メートル以上の足場の組立て、解体、変更の際に、「足場の組立て等作業主任者」を選任し、その職務を実施していますか。また、それらを周知していますか。	はい・いいえ
3 足場の組立て解体等の作業について、足場組立て等の作業について「特別教育修了者」に行わせていますか。	はい・いいえ
4 高さ2メートル以上の高所作業について、足場により作業床を設置して作業をしていますか。	はい・いいえ
5 高さ2メートル以上の高所作業について、足場の設置が困難な場合には、親綱を設置して安全帯を使用していますか。（墜落防止ネットの設置も可）	はい・いいえ
6 はしごの使用については、上端及び脚部を固定し、安全ブロックを使用していますか。	はい・いいえ
7 脚立・踏み台の使用に当たって、体を斜めにするなど無理な体勢で使用していませんか。	はい・いいえ
8 足場の点検を実施し、点検表に記録していますか。	はい・いいえ

切れ・こすれ防止対策

点検項目	チェック
1 携帯丸のこの安全カバーを固定するなどせず、安全装置有効にして使用していますか。	はい・いいえ
2 丸のこを使用する際には、安全カバーを使用していますか。	はい・いいえ
3 カッターを、使用する際には、軍手等を用いて使用していますか。	はい・いいえ

チェックに「いいえ」があった場合には、速やかに改善して下さい。